

意見交換会実施報告書

令和8年8月27日

赤穂市議会議長 様

委員会委員長 家入 時治

建設水道委員会は、下記により意見交換会を実施したので報告する。

記

開催日時	令和8年8月6日（木） 18時30分 ～20時30分
開催場所	赤穂市役所2階 204会議室
意見交換会テーマ	赤穂市経済の現状と行政に求める経済活性化対策について
出席委員	代表者：家入時治 土遠孝昌 司会者：木下秀臣 瓢 敏雄 記録者：安田 哲
相手方団体名 及び参加者数	赤穂商工会議所青年部 5名
主な意見等	1. 概要 三つのテーマ「①イベントから始めるまちづくり②少子化対策としての移住・定住③産業の活性化（企業誘致、農業）」の下、赤穂市の経済活性化対策について、若手経営者と意見交換を実施し、行政に対する意見・要望について伺った。 2. 意見・要望他 <u>①イベントから始めるまちづくり</u> ・近隣自治体で実施している花火大会に赤穂市民が訪れている。小さな規模でも構わないので花火大会を復活させたい。手段はないのか。 ・コロナ以降、行事ごとが減り、あっても簡素化されている。楽しいことには人が集まる。子供、市民が笑顔になれるイベントを実施して欲しい。 ・昨年、商工会議所青年部が実施したオータムフェスは賑わった。青年部も実働人数が増えている。企業の協賛をいただくことでイベントが実施できるのでは。 ・イベントを実施することで人と人とのつながりができる。その

	ことが重要。 ・イベント開催手続における警察の許可が厳しくハードルとなっている。対策が講じられないか。 ②少子化対策としての移住・定住 ・子育てにお金がかかる。第二子、第三子への手厚い支援が必要。 ・働く場がなく人口が都市圏に流出してしまう。雇用を創出できるような核となる事業所があるとよい。 ・人口が減少するなか、起業・経営も難しい。自分は姫路まで仕事を取りに行っている。交通の便が改善できないか。 ・街コンなど出会いの場を企画して欲しい。 ・災害が少ないなど、もっと地域の良さを外部に向かって発信しては。 ③産業の活性化（企業誘致、農業） ・赤穂の特産物がすぐには浮かばない。有名な特産品や商品化があるとよい。新たな発想による商品化やPRが必要。 ・運送業からの視点で言うと、物流センターがないため赤穂市内で生産された製品も他の地域で保管されている。インターチェンジ周辺地区に物流センターを誘致できないか。 ・地元企業にお金が落ちる取組が必要。 ・赤穂市は御崎や坂越が観光で知られている。知名度をさらに高めるために、ブランド化のための専門人材を活用することはできないか。 ④その他 ・高山の「赤」のライトアップについて、LEDに変更して、特別な日に色を変えることはできないか。 ・戦争等による物価高騰の影響で燃料価格や材料価格が不安定。赤穂市内のお店は安売りするところが多く苦しい部分がある。 ・現在の業態だけでは今後経営が苦しくなることが予想されるので、他業種への取組も検討する必要がある。 ・塗装の仕事を確保するため大阪方面まで行っている。 ・高齢化社会のなか健康保険が使いにくく保険治療の扱いとならないものもある。今後は若い人を対象としたサービスも考えていく必要がある。
委員会のコメント	・花火大会の実施については多くの市民が求めていることを承知している。やり方次第であり市民が音頭を取ってもらいたい。 ・市も実施団体があれば支援すると言っている。商工会議所青年部が担うことはできないのか。

	・ イベント等への誘客については、地域情報共有アプリの活用を検討してみてはどうか。 ・ 赤穂市内事業所の求人はあるが、製造業等が多く若い人や女性の就業希望が少ないのが現状である。 ・ 移住を推進するためには女性の働く場を創出していく必要がある。 ※各団体・関係者からの貴重なご意見を委員会で協議し、担当部局と意見交換すると共に、委員が議会での提言も検討する。
--	--